



2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 高見澤
コード番号 5283 URL <https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 秀茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小林 茂勝

TEL 026-228-0111

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	36,296	3.1	977	5.6	1,101	6.5	743	7.2
2023年6月期第2四半期	35,220	8.0	1,035	38.4	1,179	49.6	801	63.7

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 842百万円 (4.6%) 2023年6月期第2四半期 883百万円 (71.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	443.77	
2023年6月期第2四半期	476.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第2四半期	41,104	14,300	34.0	8,331.17
2023年6月期	37,428	13,543	35.3	7,877.37

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 13,957百万円 2023年6月期 13,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		0.00		50.00	50.00
2024年6月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	1.4	1,600	1.9	1,800	5.0	1,200	3.3	716.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	1,758,400 株	2023年6月期	1,758,400 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	83,059 株	2023年6月期	83,002 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	1,675,376 株	2023年6月期2Q	1,680,402 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い社会経済活動が活発化し、インバウンドを始めとする国内需要の回復傾向はみられたものの、ウクライナ問題の長期化や米中摩擦の深刻化など国際情勢の不安は増しており、加えて長引く円安によるエネルギー価格や諸物価の高騰など景気減速への懸念は続き、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高36,296百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益977百万円（前年同四半期比5.6%減）、経常利益1,101百万円（前年同四半期比6.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益743百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建設関連事業

公共工事、民間工事ともに販売が低調に推移し、原材料・燃料などの価格高騰や仕入商材の値上りに対し、製造原価の低減や販売価格への転嫁などに努めたものの、減収減益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は4,350百万円（前年同四半期比18.7%減）、営業利益は239百万円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

② 電設資材事業

設備投資案件の納入が順調に進んだことにより増収となりましたが、人件費及び諸経費の増加により減益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は19,275百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益は570百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

③ カーライフ関連事業

石油部門では、燃料油販売が前年並みを確保するとともに、油外商品が好調に推移し増収となりましたが、原油価格高騰と激変緩和措置の補助金減額による上昇コストの転嫁が遅れ減益となりました。オート部門では、整備売上及び新車販売は順調に推移したものの、中古車販売の不振により減収減益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は8,312百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は21百万円（前年同四半期比78.2%減）となりました。

④ 住宅・生活関連事業

農産物部門では、きのこと培地の販売が順調に推移したことや、為替変動による原材料高騰はあったものの利幅確保に取り組み増収増益となりました。不動産部門では、建売分譲物件の取扱量が減少したことにより減収減益となりました。また、飲食料品小売部門では、家庭内消費が引き続き順調であったことに加え、販売先の拡大と利幅確保につとめ、増収増益となりました。

この結果、住宅・生活関連事業の売上高は4,358百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は281百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,535百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が2,699百万円増加したことによるものであります。固定資産は16,077百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が262百万円減少したものの、有形固定資産が320百万円、投資有価証券が68百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、41,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,675百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は19,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,033百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が746百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,734百万円、短期借入金が1,951百万円増加したことによるものであります。固定負債は7,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が91百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、26,804百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,918百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は14,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ756百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益743百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.0%（前連結会計年度末は35.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて392百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には3,230百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は802百万円（前年同四半期は650百万円の獲得）となりました。これは主に仕入債務の増加額1,685百万円に対し、売上債権の増加額2,608百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は434百万円（前年同四半期は674百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出419百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は1,628百万円（前年同四半期は1,079百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出967百万円に対し、短期借入金の純増額1,980百万円及び長期借入れによる収入845百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月10日の「2023年6月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,349	3,752
受取手形、売掛金及び契約資産	14,070	16,770
商品及び製品	3,340	3,748
仕掛品	5	3
原材料及び貯蔵品	343	350
その他	421	438
貸倒引当金	△39	△38
流動資産合計	21,491	25,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,032	10,148
減価償却累計額	△6,460	△6,577
建物及び構築物 (純額)	3,572	3,570
機械装置及び運搬具	6,474	6,596
減価償却累計額	△4,816	△4,922
機械装置及び運搬具 (純額)	1,658	1,673
土地	6,739	6,826
リース資産	464	441
減価償却累計額	△240	△186
リース資産 (純額)	223	254
建設仮勘定	27	190
その他	1,906	1,960
減価償却累計額	△1,666	△1,695
その他 (純額)	239	265
有形固定資産合計	12,460	12,780
無形固定資産		
のれん	93	88
その他	241	244
無形固定資産合計	334	333
投資その他の資産		
投資有価証券	850	918
繰延税金資産	1,048	785
その他	1,883	1,936
貸倒引当金	△640	△677
投資その他の資産合計	3,142	2,963
固定資産合計	15,937	16,077
資産合計	37,428	41,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,249	10,983
短期借入金	3,842	5,794
リース債務	83	94
未払法人税等	285	164
賞与引当金	784	38
役員賞与引当金	20	—
その他	2,016	2,239
流動負債合計	16,281	19,314
固定負債		
社債		
長期借入金	4,715	4,624
リース債務	176	211
繰延税金負債	26	24
再評価に係る繰延税金負債	372	372
退職給付に係る負債	1,754	1,755
役員退職慰労引当金	300	248
環境対策引当金	95	95
資産除去債務	72	72
その他	88	85
固定負債合計	7,603	7,489
負債合計	23,885	26,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
資本剰余金	0	0
利益剰余金	11,254	11,913
自己株式	△106	△106
株主資本合計	12,412	13,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231	274
土地再評価差額金	321	321
為替換算調整勘定	257	309
退職給付に係る調整累計額	△23	△19
その他の包括利益累計額合計	785	885
非支配株主持分	345	342
純資産合計	13,543	14,300
負債純資産合計	37,428	41,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	35,220	36,296
売上原価	29,260	30,206
売上総利益	5,960	6,090
販売費及び一般管理費	4,925	5,113
営業利益	1,035	977
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	7	5
持分法による投資利益	65	16
仕入割引	87	95
不動産賃貸料	19	19
その他	60	66
営業外収益合計	242	204
営業外費用		
支払利息	33	31
為替差損	11	0
売上割引	18	19
その他	35	28
営業外費用合計	98	80
経常利益	1,179	1,101
特別利益		
固定資産売却益	7	5
投資有価証券売却益	—	0
投資有価証券評価損戻入益	6	1
特別利益合計	14	8
特別損失		
固定資産除却損	5	5
役員退職慰労金	—	5
その他	0	—
特別損失合計	5	10
税金等調整前四半期純利益	1,187	1,100
法人税、住民税及び事業税	175	132
法人税等調整額	197	240
法人税等合計	372	373
四半期純利益	815	726
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	14	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	801	743

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	815	726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	43
為替換算調整勘定	38	44
退職給付に係る調整額	4	4
持分法適用会社に対する持分相当額	20	23
その他の包括利益合計	68	116
四半期包括利益	883	842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	855	843
非支配株主に係る四半期包括利益	27	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,187	1,100
減価償却費	370	368
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	47	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△657	△746
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	△52
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	6
受取利息及び受取配当金	△9	△7
支払利息	33	31
為替差損益 (△は益)	11	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,673	△2,608
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△125	△414
未収入金の増減額 (△は増加)	33	62
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,729	1,685
未払金の増減額 (△は減少)	75	△58
その他	23	144
小計	1,053	△468
利息及び配当金の受取額	8	14
利息の支払額	△33	△31
法人税等の支払額	△378	△317
営業活動によるキャッシュ・フロー	650	△802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△602	△419
有形固定資産の売却による収入	7	5
無形固定資産の取得による支出	△7	△4
投資有価証券の取得による支出	△13	△13
投資有価証券の売却による収入	—	8
貸付けによる支出	△2	△1
貸付金の回収による収入	2	2
定期預金の預入による支出	△163	△187
定期預金の払戻による収入	104	177
その他	0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△674	△434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,597	1,980
長期借入れによる収入	520	845
長期借入金の返済による支出	△937	△967
社債の償還による支出	△5	△105
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△37	△40
自己株式の取得による支出	△10	△0
配当金の支払額	△41	△83
非支配株主への配当金の支払額	△4	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,079	1,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,056	392
現金及び現金同等物の期首残高	2,018	2,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,075	3,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,353	17,559	8,113	4,195	35,220	—	35,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	132	28	153	71	384	△384	—
計	5,485	17,587	8,266	4,266	35,605	△384	35,220
セグメント利益	293	574	96	238	1,202	△167	1,035

(注) 1. セグメント利益の調整額△167百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,350	19,275	8,312	4,358	36,296	—	36,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114	34	152	59	360	△360	—
計	4,464	19,309	8,464	4,418	36,657	△360	36,296
セグメント利益	239	570	21	281	1,112	△135	977

(注) 1. セグメント利益の調整額△135百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。